

第4回琉大SDGs研究シンポジウム 気候変動の科学と 大学の役割

参加費
無料
要申込

2024年3月28日 (木) 9:30~12:00

ハイブリッド開催 (会場・オンライン)

📍 琉球大学文系講義棟215室 (大講義室)

私達の活動が影響すると考えられている気候変動、その効果的対策には、幅広い分野での研究や取り組み、そして私達の行動変容が必要です。本シンポジウムでは、気候変動やその影響について解説し、大学や研究者の取り組みについて紹介します。



東京大学大気海洋研究所
濃部 雅浩 教授

気候変動のメカニズムと予測可能性に関する研究が専門。研究成果が多く引用されている(評価されている)研究者として、Clarivate Highly Cited Researcherに2018年から連続選出されている。IPCC報告書の執筆者も務める。

基調講演「気候変動の科学と大学の役割」

気候変動問題解決のための脱炭素社会実現が世界的潮流になっている現在、大学が果たすべき役割は多様です。本講演では、東京大学の取り組みの一端をご紹介するとともに、私自身も執筆者として関わった気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第6次報告書から、気候変動と極端気象の関係、台風の将来変化、緩和の排出シナリオなどの重要なポイントを分かりやすく解説します。



研究紹介「地球温暖化とサンゴの未来」

琉球大学熱帯生物圏研究センター 高橋 俊一 教授



活動紹介「サンゴ礁島しょの順応的環境マネジメント： 気候変動下での持続可能な農業と海洋保全戦略」

琉球大学農学部 安元 純 助教

対象

どなたでも (無料)
会場定員 100名
オンライン 300名

参加
申込

右QRコードまたは下記URLから
お申込みください
締め切り：3月27日 (水)
<https://forms.office.com/r/bq8Y7n72hv>



会場 沖縄県中頭郡西原町千原1番地
琉球大学文系講義棟215室

主催 琉球大学SDGs推進室
研究ワーキンググループ



琉球大学は持続可能な開発目標(SDGs)を実現しています。